

退職者連絡会

第59号
(発行・編集)
J R九州労組
退職者連絡会
鹿児島地区本部

新緑の薫下、親睦ゴルフ大会 東秀人氏(元吉松駅) 3度目の栄冠

五月一日、蒲生カントリークラブ(始良市蒲生町)において、第三五回親睦ゴルフコンペを開催しました。新緑の薫好天となり、当日は鹿児島市内、始良、湧水、出水など各地から過去最多の三十六名が参加、うち招待チームとして、上村ちかし後援会より三名が参加されました。川上正雄副会長の司会で開会式がはじまり、冒頭、豎山正明会長が挨拶「四月の始良市議選で上村ちかし市議が四期目の上位当選を果たすことができました。ご支援ご協力に厚く御礼申し上げます。日頃の練習の成果を發揮され、優勝を目



指して頑張つて下さい」とエールを送りました。引き続き来賓として上飯屋浩二書記長(JR九州労組鹿児島地本)は、冒頭、協力に感謝を述べ「連結決算では、鉄道旅客の運輸収入も緩やかな回復や保有不動産の売却等で一三二億円の赤字にはなっています。依然厳しい経営環境あります。この難局を

乗り越えるため、組合員は勿論、退連会の方々と連携し頑張つて行きたいと思いま



強いドライブングショットやベタピンのアプローチショットなど美技を連発。一方、OBやバンカー等で悪戦苦闘する選手も続出しました。
3密(密閉、密集、密接)回避で表彰式も広いレストランで行ない、草留和徳事務局長の司会で開会、江口洋一幹事から順次成績発表が披露され、ドラゴン、ニアピン、飛び賞、優勝など各賞品が豎山会長より授与されました。
優勝は東秀人さん(元吉松駅)が三度目の栄冠を勝ち取りました。なお、ベストグロス賞は、下入佐忍さん(元鹿児島乗務センター)が八二で獲得しました。
コンペは終始和やかな雰囲気の中、有意義な交流の場となりました。

第九三回メーデー県中央集会在去る四月二十九日、鹿児島市天文館公園で開催されました。今回もコロナ禍縮小メーデーとなり、産別、単組約八〇〇人(JR連合二〇)が結集、JR九州労組退職者連絡会から五名が参加しました。まず集会議長に上飯屋浩二氏(JR九州労組)を選出、冒頭挨拶に立った下町和三会長(連合鹿児島)は、コロナ禍やロシアのウクライナ侵略等による経済情勢に触れ、「燃料の高騰や円安、物価高で国民は疲弊しきつている。賃金は上がらず、特に賃金格差は拡大している。」と格差の是正や多様性を認め合う社会づくりを強く訴えられました。来賓としては、下鶴隆央市長を始め、

コロナ禍で規模縮小メーデー 多様性を認め合う社会をめざし

連合推薦議員らが多数参加しました。七月予定の参院選の推薦候補「やなぎ誠子」女史が登壇し「人が人らしく生きていける社会を創るために頑張る」と決意を述べました。集会の最後に、多様性を認め合う社会を目指などのメーデー宣言を採択し、団結頑張ろうで散会となりました。

編集後記

ロシアがウクライナに侵攻して三ヶ月が経った。この戦火が多くなる国民や兵士が亡くなる理由がある。いかなる理由がある。うとも、主権国家に軍事力行使することとは断じて許せない。ウクライナ事態に乗じて、安倍元首相等は核兵器共有の発言など平和憲法を破壊する動きが加速している。七月の参院選は憲法九条を守る闘いで極めて重要な闘いとなる。